

2019年3月2日

HamaWing 佐藤好郎

同 安斉徹郎

神奈川県卓球協会「登録費」新設に関する説明会の概要

1、開催日時 2019年2月28日(木) 13時～15時

2、開催場所 平沼記念レストハウス3号会議室

3、出席者

<神奈川県卓球協会> 5名

小林秀行・河原智・市川政男各副会長、鈴木一理事長、加賀谷修事務局長

<登録団体> 11名(*50音順)

安斉(HamaWing)、池上(FAMILY)、石井(逗子クラブ)、大野(A&Y)、工藤(相模原ベテラン会)、佐藤(HamaWing)、鈴木(神南クラブ)、十河(藤クラブ)、松田(HamaWing)、宮川(横浜ベテラン会)、茂木(大正同好会)

4、内容

鈴木理事長より配布資料に基づいて、「登録費」新設の経緯と考え方等が説明され、市川副会長より財政状況について説明が行われた。

その後、質疑応答を行い、協会から次の点について見解が示された。

◇鈴木理事長の発言要旨(登録費徴収への理解)

長年にわたる財政難の中で、登録費徴収が最善の手段であり、理事会において十分に討議している。将来を見据え徴収について理解してほしい。

◇小林副会長の発言要旨(ガバナンスに関して)

県卓球協会としては、各支部協会に会員への通達を徹底する旨、申し入れている。

◇河原副会長の発言要旨(支部協会での通達に関して)

横浜市は、会員の人数が多く通達は不可能である。

◇市川副会長の説明要旨(財政状況)

単年度の収支状況は、27年度から赤字の状態に陥っている。

◇情報開示について(県、横浜市とも)

会計収支などの情報について、従来どおり支部協会を通じて情報開示をしていくが、今後はホームページにも掲載していく。

5、事務局感想

*全体として「消化不良」の感は否めない。

*財政の数値は、わざわざわかりにくく作成している印象で、貸借対照表も開示されなかったし、損益計算書など基本的な会計ルールに基づいたデータは示されなかった。

*今回の説明会を、「説明責任」「透明性」「ステークホルダーの利害の尊重」などガバナンスの確立と強化に結び付けたいと考え臨んだ結果、「情報開示」については一歩進めることができたと考えているが、今後の県卓球協会および各支部協会の動向を注視していきたい。

<追記>

3月1日の県卓球協会のホームページで、それ以前では開くことができなかった「規約」が見ることができるようになり、内容を精査したところ、次の2点が2月18日付で改定されている。

①第2条「事務所」について「横浜市中区不老町2-11-5栄ビル」とすると改定。

②第21条「経費」について「登録費」を加筆。

また、「登録規定」が同日新設され、登録費金額が制定されている。

この改定がすでに行われていることは、2月28日の説明会では一切触れられておらず、「スポーツマンシップとフェアプレイの精神」という観点からは程遠い、誠実さの欠如した残念な行為と言わざるを得ない。

県卓球協会、横浜市卓球協会は任意団体であり、法的な拘束はないが、日本卓球界の統括団体である公益財団法人日本卓球協会の加盟組織であることから、それに準じた行動規範が当然求められると考えられる。

したがって、今後はさらにその活動を注視していきたい。

以上